

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2026年4月30日(木)

NO. 1676号

本号3頁

9条改悪反対ネット署名も 早くも4万人超

戦争準備の憲法9条改悪に反対しようと、安民法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合など6団体は、ネット署名「日本の平和憲法を守りたい—私たちは戦争につながる憲法改悪に反対します」(憲法9条改悪に反対するネット署名)を開始しました。23日午後5時半現在で4万4500人超が賛同しています。

ネット署名は、4月から6団体が取り組んでいる「憲法9条改悪に反対する請願署名」と同趣旨で、首相と衆参両院議長宛です。

賛同した人は「戦後81年間守り続けた平和が壊され、再び戦争へ向かおうとしているこの流れを何としても止めたい」などとコメントを寄せています。

「『時は来た』などと言って改憲を煽っている」と、

共産・山添氏が高市総理を9条改憲めぐり批判

山添氏は12日に行われた自民党大会で高市早苗総理が「どのような国をつくりあげたいのか、その理想の姿を物語るものが憲法」と述べたことを取り上げ「立憲主義の憲法は単に国の姿はこうだと示すものではありません。権力を制限し、それによって個人の自由、基本的人権を保障するためのものです」と主張。そのうえで「立憲主義について総理の認識を伺います」と質問しました。

これに対して高市総理は「立憲主義とは、主権者たる国民がその意思に基づき憲法において国家権力の行使のあり方について定め、これにより国民の基本的人権を保障するという近代憲法の基本となる考え方であり、日本国憲法も同様の考え方に立って制定されたものだと考えております」と述べました。

山添氏は「その立憲主義の基本認識が自民党大会や施政方針演説の総理ご自身の言葉からは伺えないから今、聞いております。自由と権利を保障するために国民が権力を縛り、やるべきことと、やってはならないことを命じるのが憲法です。従って、時の権力者が自らの夢や理想を掲げるためのものではありません。日本国憲法による権力の拘束の最たるものが憲法9条です」と返し、憲法9条について主張を展開しました。

「戦争放棄と戦力の不保持、交戦権の否認、憲法がこれだけ恒久平和主義を徹底したのは言うまでもありませんが、戦争の反省からです。憲法前文は政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意したと。2度と戦争国家にならないという決意を表明しています。そして9条1項は、日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求するとして戦争放棄の動機を明らかにしています。国連憲章が掲げる戦争のない世界のために日本が世界に先駆けて踏み出す決意を示したものです」と述べ「総理は先般、武器輸出の全面解禁を決めた当日の会見で『戦後80年以上にわたって日本は平和国家として歩んでまいりました』と述べました。この総理がいう平和国家とはつまり憲法9条に基づく平和国家という意味ですね」とただしました。

これに高市総理は「もちろん憲法9条にも基づいております。我が国が大切にしてきたのが平和国家という理念でございます」と述べました。

山添氏は、安倍政権の時代には平和国家の根拠を憲法ではなく、国連憲章を順守するという言い方に変えていたとして「今、総理が平和国家としての歩みは憲法9条に基づくものだと言ったのは、とても大事な答弁だと思います」と評価したうえで「そう断言されるならこの先も9条に基づく平和国家としての歩みを堅持なさいますね」と質問しました。

「平和国家の根幹である 9 条を変えようとしているのは総理と自民党」と批判

高市総理は「立憲主義にのっとった政治を行うというのが当然で国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を基本原則とする憲法のもとでしっかり国民の皆様の命と平和な暮らしを守ってまいります」などと述べました。

山添氏が「9 条に基づく平和国家としての歩みを堅持し続けるということであれば 9 条を変えようなどというのはもってのほかではありませんか」と詰めると、高市総理は「現行憲法の中に憲法を改正するための条文が含まれております。憲法の定める改正手続きによる憲法改正について、検討したり主張するということは制約をされておられません」と回答しました。

山添氏は「私はその総理が自民党大会で『時は来た』などと言って改憲を煽っている姿勢を問題にしております」と指摘し、「(平和国家としての) 歩みを今後も堅持すると言いながら、その根幹である 9 条を変えようとしているのが総理と自民党であります」と述べました。

そして「9 条は戦後絶えず傷つけられてきましたが、それでも一貫して平和国家としての日本の礎となり、9 条からの逸脱を図る政治を常に制約してきました。それは立憲主義のゆえであり、何より日本とアジアにおびたしい犠牲をもたらした戦争の記憶と反省が多く国民に共有されてきたからです。その 9 条の意義と果たしてきた役割を自覚されるなら、やはり 9 条改憲をやるなど許されません」と訴えました。

最後に「今、国会前で、全国で何万人もの人々が戦争反対、9 条を守れと訴えています。その声を聞かずに改憲ありきで戦争する国へひた走る政治から、憲法を守り生かす政治への転換こそ求められることを強調して質問を終わります」と述べました。

全教談話 特別支援学校の教室不足解消を!!

全教は、2026 年 4 月 27 日、書記長談話『特別支援学校の深刻化する過大化、教室不足のすみやかな解消のために、財政保障による新校建設を～文科省「公立特別支援学校教室不足調査」結果を受けて～』を発表しました。

4 月 10 日、文部科学省は 2 年ぶりとなる「公立特別支援学校教室不足調査」の 2025 年 10 月 1 日時点での結果を公表しました。しかし、その内容は、現場で深刻化している実態を十分に反映しているとは言えないものとなっています。

今回の調査では、児童生徒数が 2 年間で 7562 人増加し、前回調査の 2021 年からの 2 年間で 5083 人増から急増しました。学級数も 2023 年から 2 年間で 1233 学級増と、前回調査の 880 学級増を大きく上回り、いずれも増加率が約 1.5 倍に達しています。本来であれば、それに見合う教育環境の整備が速やかにすすめられるべきです。しかし現実には、教室不足に対する抜本的な施設整備は追いつかず、特別教室や倉庫を教室に転用したり体育館まで間仕切りしたりするなどの「一時的な対応」とされる措置が 7933 か所もあり、前回より 457 か所も増加しています。本来の教育環境とは言い難い対応が常態化しており、子どもたちは十分な学習環境を保障されないまま日々の学校生活を送っています。

さらに深刻なのは、全国各地で教室不足を補うために運動場を削ったり、プールを潰したりして校舎を増築する事例が増加していることです。今回の調査でも、運動場の面積が設置基準を充たさない学校が、埼玉、東京、神奈川など 6 県で増加しています。その結果、子どもたちが体を動かし、のびのびと活動できる場が失われています。特別支援学校においては、運動や屋外活動は心身の発達や情緒の安定にとって極めて重要な教育活動です。運動場の縮小は、体育の授業や集団活動、休み時間の自由な遊びの機会を奪っています。等と、訴えています。

特別支援学校の教室不足解消早く 参院文科委 吉良氏が追及

日本共産党の吉良よし子参院議員は 21 日、参院文教科学委員会で、特別支援学校の深刻な教室不足の解消のため、国として対策を強化するよう求めました。

吉良氏は「パーテーションで間仕切るような対応が、学習上全く支障がないと言えるのか」と追及。文科省の望月禎初等中等教育局長は「『一時的な対応をしている教室』の中には、授業の実施に支障が生じているケースもある」と認めました。吉良氏は「発表されている不足教室数は実態を反映しておらず、『一時的な対応をしている教室』も含めて不足教室数とカウントすべきだ」と求めました。

ご参加ください。

『つながろう 憲法いかして平和な世界を！2026 憲法大集会』

つながろう 憲法いかして平和な世界を！ 2026 憲法大集会

スローガン

私たちは

- 改憲発議を許さず、憲法をいかし、平和・いのち・くらし・人権を守ります。
 - 世界の平和を脅かすロシアやアメリカ、イスラエルによる他国への武力攻撃を許さず、日本政府に憲法9条をいかした平和外交を求めます。
 - 東北アジアの平和を求め、ミャンマーや朝鮮半島の安定と平和を求めます。
 - 「台湾有事」の扇動による基地機能強化、日米軍事一体化を許さず、敵基地攻撃能力の保有やミサイル基地配備の撤回を求めます。
 - 平和主義をつらぬき、核兵器のない世界をめざします。
 - 辺野古新基地建設に反対し、米兵による性暴力を許さず、日米地位協定の抜本的改定を求めます。
 - 原発推進政策による原発再稼働・新增設を許さず、再生可能エネルギーへの転換を求めます。
 - ジェンダー平等の実現、選択的夫婦別姓の法制化を求めるとともに、外国人差別排斥を許さず、日本政府が進めようとする「スパイ防止法」等に反対し、すべての個人の尊厳を大切にする社会をめざします。
- これらの実現のため、共同の輪をひろげ、金権腐敗政治の自民党中心の政治構造転換をめざし、だれもが安心してくらせる社会を希求します。

プログラム

- 11:00 ミニステージ
A 自由に話そうトークイベント
B 女たちが集まれば変えられる！めっちゃ楽しい未来をつくろう！
C こども憲法ひろば
D Human Music ライブ
- 12:30 メインステージ
オープニング バンクロッカー労働組合・村上 豪
- 13:00 主催者あいさつ
- 13:05 スピーチ 吉岡 忍さん（ノンフィクション作家・日本ペンクラブ前会長）：憲法・政治問題
仁藤夢乃さん（一般社団法人 Colabo 代表）：人権・排外主義問題
- 13:20 国会議員あいさつ
- 13:40 プラカードアピール・カンパの訴え
- 13:45 市民連合 連帯あいさつ 佐々木寛さん（新潟国際情報大学教授）
- 13:50 リレートーク ①福島 武藤類子さん（原発事故被害者団体連絡会共同代表）
②核兵器禁止 中島優希さん（核兵器をなくす日本キャンペーン）
③スパイ防止法 海渡双葉さん（弁護士）
- 14:10 スローガン確認
- 14:15 クロージング「HEIWAの鐘」合唱
- 14:25 パレード指示
- 14:30 パレード開始
- 16:30 パレード終了

アクセスマップ



2026・5・3
有明防災公園

東京都江東区有明3丁目8番35号

【電車】

東京臨海高速鉄道りんかい線「国際展示場」駅より徒歩4分

ゆりかもめ東京臨海新交通臨海線「有明」駅より徒歩2分

【バス】

都バス 門19甲系統「がん研有明病院前」停留所より徒歩約2分

都バス 東16系統「有明二丁目」停留所より徒歩約7分



クラウド
ファンディングに
ご協力ください

ご支援・ご協力のお願い

●クラウドファンディング

"「平和憲法の危機」だからこそ、5月3日、憲法集会を成功させたい！"

目標金額500万円

(期限：2026年4月30日)

<https://readyfor.jp/projects/kenpou2026>

→詳細はこちら



●カンパを募っています

ご協力をお願いします。

一口1,000円（なるべく複数口で）

→カンパの送り先

【郵便振替】

口座記号番号 00160-7-586990

加入者名 5・3憲法集会

【銀行振込】

ゆうちょ銀行〇一九（ゼロイチキョウ）店/店番019

当座 0586990

口座名 5・3憲法集会